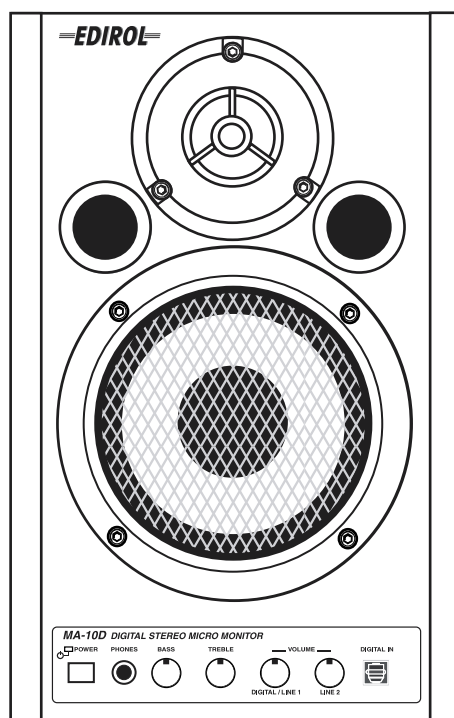
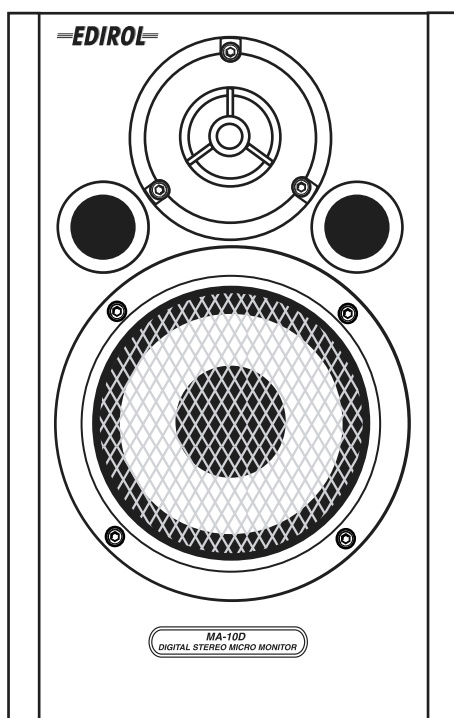
DIGITAL STEREO MICRO MONITOR
MA-10D
STEREO MICRO MONITOR
MA-10A

取扱説明書

このたびは、ローランド MA-10D/MA-10A をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」（P.2 ～ 3）と「使用上のご注意」（P.4）をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

©　2001　ローランド　本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

安全上のご注意

マークについて

この機器に表示されているマークには、次のような意味があります。

注意
感電の恐れあり
キャビネットをあけるな

注意： 感電防止のため、パネルやカバーを外さないでください。
この機器の内部には、お客様が修理／交換できる部品はありません。
修理は、お買い上げ店またはローランド・サービスに依頼してください。

このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書などに、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表わしています。

火災・感電・傷害を防止するには

⚠警告と⚠注意の意味について

⚠ **警告**	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
⚠ **注意**	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

以下の指示を必ず守ってください

⚠警告

● この機器を使用する前に、以下の指示と取扱説明書をよく読んでください。

● この機器を分解したり、改造したりしないでください。

● 修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

● 次のような場所での使用や保存はしないでください。

○ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
○ 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
○ 雨に濡れる場所
○ ホコリの多い場所
○ 振動の多い場所

⚠警告

● この機器を、ぐらついた台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。

● 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込んでください。

● 電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。

● この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。

⚠ 警告

● この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。

● 次のような場合は、直ちに電源を切って電源コードをコンセントから外し、お買い上げ店またはローランド・サービスに修理を依頼してください。

○ 電源コードやプラグが破損したとき
○ 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
○ 機器が（雨などで）濡れたとき
○ 機器に異常や故障が生じたとき

● お子様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。

● この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。

● 電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。

● 外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランド・サービスに相談してください。

⚠ 注意

● この機器は、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。

● 電源コードを機器本体やコンセントに抜き差しするときは、必ずプラグを持ってください。

● 長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから外してください。

● 接続したコードやケーブル類は、繁雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。

● この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。

● 濡れた手で電源コードのプラグを持って、機器本体やコンセントに抜き差ししないでください。

● この機器を移動するときは、電源プラグをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。

● お手入れをするときには、電源を切って電源プラグをコンセントから外してください（お手入れについて → P.4）。

● 落雷の恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントから外してください。

● 付属のゴム足は、小さなお子様が誤って飲み込んだりすることのないよう取り扱いに注意してください。設置面保護のためにも本体底面へ取り付けるようにしてください。

使用上のご注意

2 ～ 3 ページに記載されている「安全上のご注意」以外に、次のことに注意してください。

電源について

- 雑音を発生する装置（モーター、調光器など）や消費電力の大きな機器とは、別のコンセントを使用してください。
- 接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってから行ってください。
- 完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッチを切った後、コンセントからプラグを抜いてください。そのため、電源コードのプラグを差し込むコンセントは、この機器にできるだけ近い、すぐ手の届くところのものを使用してください。

設置について

- この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- 直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。また、至近距離から照らす照明器具（ピアノ・ライトなど）や強力なスポット・ライトで長時間同じ位置を照射しないでください。変形、変色することがあります。
- 故障の原因になりますので、雨や水に濡れる場所で使用しないでください。
- 本機の上にゴム製品やビニール製品などを長時間放置しないでください。変形、変色することがあります。
- 本機の上に水の入った容器（花びんなど）、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- 本機にシールなどを貼らないでください。はがす際に外装の仕上げを損なうことがあります。
- 本機の上に物を載せたまま使用しないでください。重い物を載せた場合、転倒／落下によりケガをする恐れがあります。

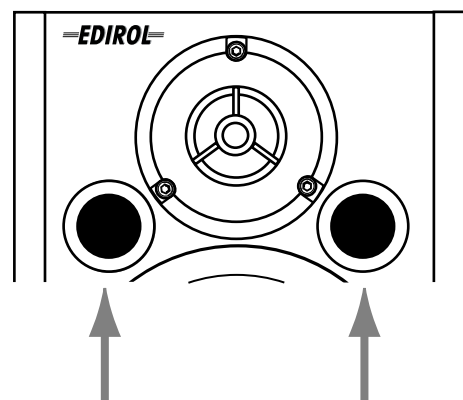
お手入れについて

- お手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れを拭き取ってください。全体を均一の力で拭きます。同じ所ばかり強くこすると、仕上げを損なう恐れがあります。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

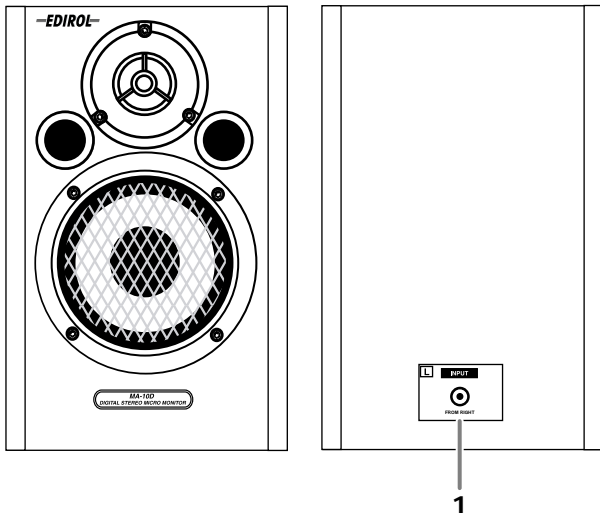
- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、または最寄りのローランド・サービスにご相談ください。

その他の注意について

- 故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- この機器は多少発熱することがありますが、故障ではありません。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は、音量に十分注意してください。
  ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- 持ち運びなどの際に、図のバスレフ・ポートに指を入れないでください。指が抜けなくなる恐れがあります。

- 接続には、当社ケーブル（PCS シリーズなど）をご使用ください。他社製の接続ケーブルをご使用になる場合は、次の点にご注意ください。
  - ○ 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。本機との接続には、抵抗入りのケーブルを使用しないでください。音が極端に小さくなったり、全く聞こえなくなる場合があります。ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。

各部の名称とはたらき

L（左）チャンネル

R（右）チャンネル

1. **L チャンネル・インプット・ジャック**

   L チャンネル・アウトプット・ジャック **10** と接続します。接続には、付属のスピーカー・ケーブルをご使用ください。

2. **電源スイッチ、パワー／スタンバイ・インジケーター**

   パワー／スタンバイ・インジケーターは、スタンバイ状態で赤、電源オンで緑に点灯します。

3. **ヘッドホン・ジャック**

   ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音は出なくなります。

4. **ベースつまみ**
5. **トレブルつまみ**

   それぞれ低域、高域の音質を調節します。センターでフラットになります。

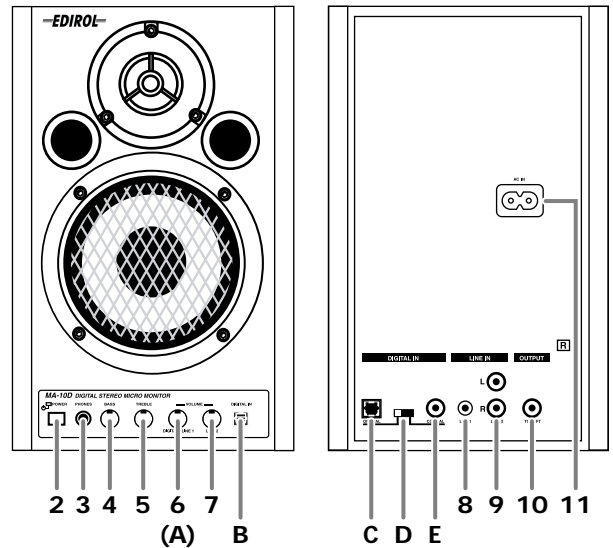
6. **ボリュームつまみ（ライン 1）**
7. **ボリュームつまみ（ライン 2）**

   それぞれライン 1 インプット・ジャック **8**、ライン 2 インプット・ジャック **9** に接続した機器の音量を調節します。

8. **ライン 1 インプット・ジャック（ステレオ・ミニ・タイプ）**
9. **ライン 2 インプット・ジャック（L, R）（RCA ピン・タイプ）**
10. **L チャンネル・アウトプット・ジャック**

    L チャンネル・インプット・ジャック **1** と接続します。

11. **AC インレット**

    付属の電源コードを接続します。外れないように確実に装着してください。

以下は MA-10D のみの機能です。

A. **ボリュームつまみ（デジタル／ライン 1）**

   デジタル・インプット端子 **B**、**C**、**E** およびライン 1 インプット・ジャック **8** に接続した機器の音量を調節します。

B. **デジタル・インプット端子（オプティカル）**

   光（オプティカル）ファイバー・ケーブルを接続するデジタル入力端子です。

   ※ この端子に接続すると、リア面のデジタル・インプット端子 **C**、**E** に接続した機器の音は出なくなります。

C. **デジタル・インプット端子（オプティカル）**

   光（オプティカル）ファイバー・ケーブルを接続するデジタル入力端子です。

D. **デジタル・インプット・セレクト・スイッチ**

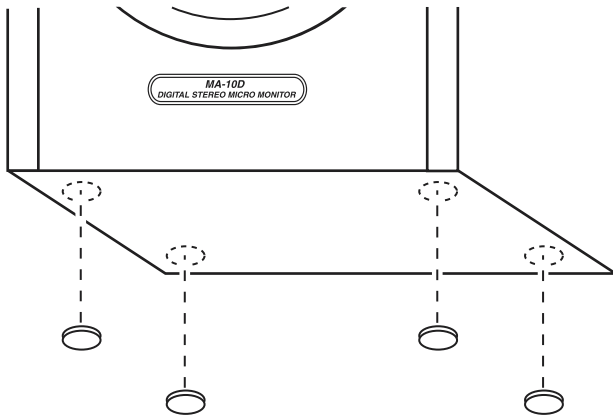
   リア面のデジタル入力端子 **C**、**E** の選択スイッチです。入力信号を接続した端子側を選択してください。

   ※ フロント面のデジタル・インプット端子 **B** に接続すると、このスイッチの位置に関係なくフロント面の端子に接続した機器の音が出ます。

E. **デジタル・インプット端子（コアキシャル）**

   同軸ケーブルを接続するデジタル入力端子です。

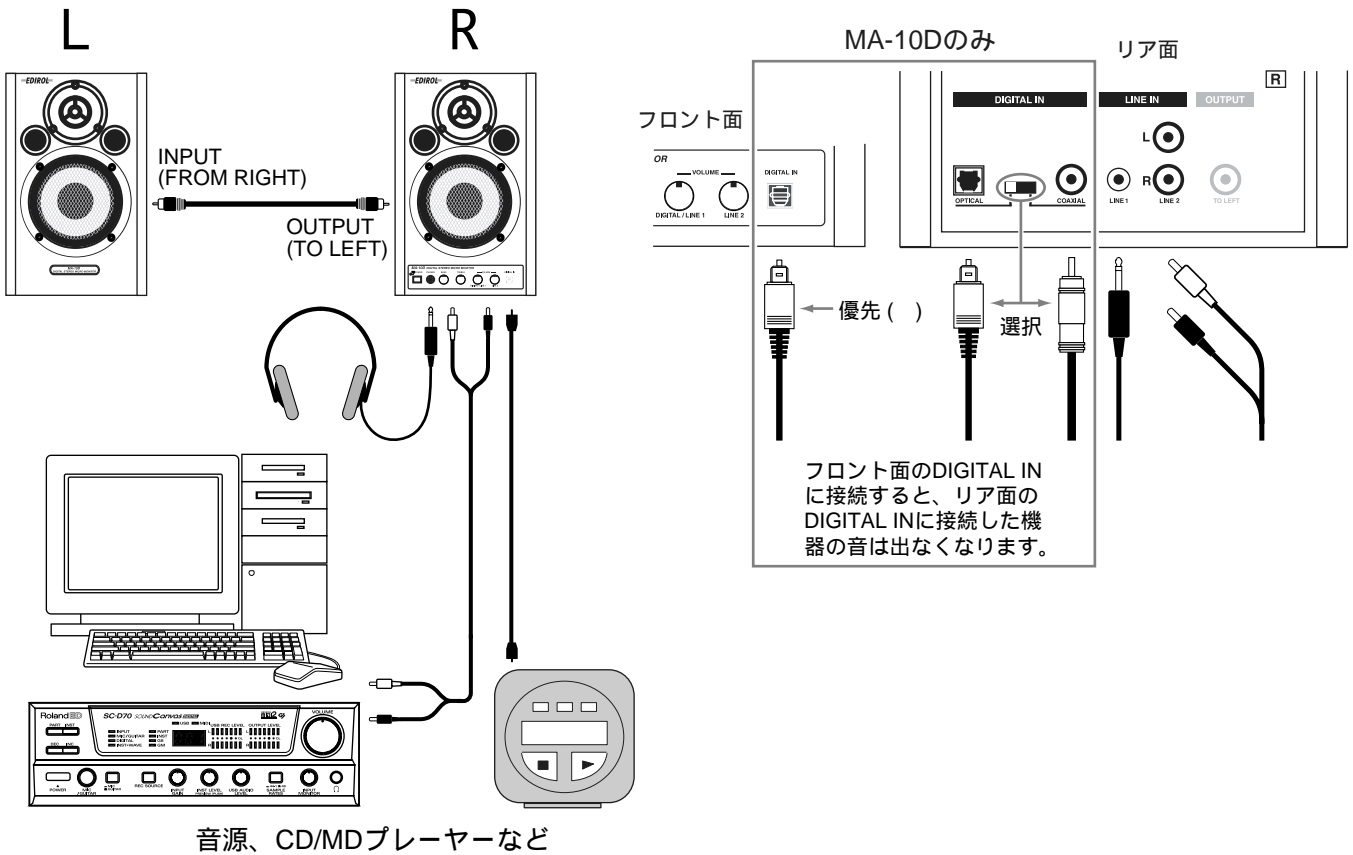
接続について

ゴム足（付属）の取り付けかた

接続および電源投入時のご注意

- 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞った状態で電源を切ってから行ってください。
- 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、接続した機器の音量が小さくなることがあります。抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。
- 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。（電源をオフにするときは、この逆の手順でおこないます。）

  ＜接続されている機器 → MA-10D/MA-10A ＞
- 音量を絞ってから電源を入れてください。音量を絞っても、電源を入れるときに音がすることがありますが、故障ではありません。

接続例

音源、CD/MDプレーヤーなど

主な仕様

定格出力
20 W（10 W + 10 W）

スピーカー・ユニット
ウーファー： 9.2 cm（防磁型）
ツィーター： 5 cm（防磁型）

再生周波数帯域
45 Hz 〜 35 kHz

規定入力レベル
ライン： -10 dBu
ステレオ： -10 dBu

入力インピーダンス
18 kΩ

コントロール
＜ R チャンネル＞
ベースつまみ
トレブルつまみ
ボリュームつまみ× 2
- ボリューム 1（ステレオ・ミニ）
（MA-10D：デジタル入力+ ステレオ・ミニ）
- ボリューム 2（RCA ピン）

電源スイッチ
デジタル・インプット・セレクト・スイッチ（MA-10D のみ）

インジケーター
パワー／スタンバイ・インジケーター

接続端子
＜ R チャンネル＞
フロント： ヘッドホン・ジャック（ステレオ・ミニ）
オプティカル端子（MA-10D のみ）
リア： ライン 1 ジャック（ステレオ・ミニ）
ライン 2 ジャック（L, R）（RCA ピン）
L チャンネル・アウトプット・ジャック（RCA ピン）
オプティカル端子（MA-10D のみ）
コアキシャル端子（MA-10D のみ）
＜ L チャンネル＞
リア： L チャンネル・インプット・ジャック（RCA ピン）

デジタル入力部（MA-10D のみ）
サンプル・レート： 32/44.1/48/96 kHz、24 ビット
D/A コンバーター： 24 ビット

エンクロージャー形式
2 ウェイ・バスレフ型（木製キャビネット）

電源
AC 100 V（50/60 Hz）

消費電流
MA-10D：250 mA
MA-10A：230 mA

外形寸法
156（幅）× 197（奥行）× 238（高さ）mm

質量
＜ R チャンネル＞
3.5 kg
＜ L チャンネル＞
2.3 kg

付属品
取扱説明書
保証書
ステレオ・ミニ ↔ RCA ピン変換ケーブル
RCA ピン・スピーカー・ケーブル
電源コード

※ 0 dBu = 0.775 V rms
※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

お問い合わせの窓口

＜電話＞　受付時間：午前10時〜午後5時（土、日曜、祝日および弊社規定の休日を除く）

DTM商品の取り扱いに関するお問い合わせ先・・・ローランドDTMホットライン

■ 東京　TEL (03) 3251-5791 ■ 大阪　TEL (06) 6345-9785 ■ 浜松　TEL　(053) 414-7005

ビデオ関連商品の取り扱いに関するお問い合わせ先・・・ローランド・ビデオキャンバス・ホットライン

■ 東京　TEL (03) 3251-3429 ■ 大阪　TEL (06) 6345-9789 ■ 浜松　TEL　(053) 414-7530

その他の商品の取り扱いに関するお問い合わせ先・・・ローランドお客様相談センター

■ 東京　TEL (03) 3251-6150 ■ 大阪　TEL (06) 6345-9500 ■ 浜松　TEL　(053) 414-7120

＜住所＞　〒433-8118　静岡県浜松市高丘西4-7-19　ローランド浜松流通センター

修理に関するお問い合わせは・・・ 商品をお求めの販売店か「サービスの窓口」に記載の営業所、またはサービスステーションまでご相談ください。「サービスの窓口」は保証書に同封、もしくは封筒の裏面に記載されています。

※上記窓口の名称、所在地、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。　**'03. 4. 1 現在**

● 取扱説明書の英語版（有料）をご希望の方は、販売店にお問い合わせください。
If you should require an English Owner's Manual (at a modest fee), please contact an authorized Roland distributor.

02678389　3KG